

総選挙です 政治を変えるチャンス 安倍暴走政治にストップ 国民の声が生きる新しい政治へ

12月2日公示、14日投票で総選挙がおこなわれることにありますが、消費税の増税やアベノミクスでくらしも景気も苦しくなるなか国民の批判が高まり、追い込まれたあげくの解散・総選挙です。

日本共産党は、消費税10%への増税中止、海外で戦争する国づくりを許さない、社会保障の切り捨てから充実への転換、原発再稼働を中止し「原発ゼロ」をめざすなど、「国民の声が生きる新しい政治」をめざし全力でがんばります。

12月定例会市議会が12月2日からはじまります みなさんのご意見・ご要望をお寄せください

12月定例会市議会は12月2日、開会され「新市建設計画の変更について」、振興局を支所にする「沼田市支所設置条例の制定について」、平成26年度沼田市一般会計補正予算（第9号）ほか特別会計6件の補正予算などが15件の議案が提案される予定です。

一般質問は、4日・5日・8日の3日間おこなわれ、大東議員など10人の議員がおこないます。

大東のぶゆき議員の一般質問

- ① 新年度予算編成について
- ② 国民健康保険について
- ③ 学童保育所について
- ④ 地域医療について

※大東議員の一般質問は5日（金）、午前10時からです。



白沢町振興局と利根町振興局が支所に 来年4月から実施のための条例制定が提案されます

12月定例会市議会に白沢町振興局と利根町振興局を支所にするために、「沼田市支所設置条例の制定について」の議案が提案されます。

条例は、第1条で支所を設置するとし、第2条で支所の場所、第3条では「この条例に定めるもののほか、支所に関し必要な事項は、市長が別に定める」とあるだけで、設置条例からは支所になって何が変わるのか、サービスはどうなるのかなどはわかりません。

来年の選挙から市議会議員の定数を2削減へ 定数削減は市民の目・耳・口をふさぐことにつながります

議員の定数を検討する各会派代表者の会議（一人会派も含む）が20日開かれ、賛成多数で来年の市議会議員選挙から定数を2削減する議案を賛同会派で12月定例会市議会に提出することが決まりました。



議員定数が削減されれば、多様な意見が市政に反映されづらくなり、市民の市政へのチェックがむずかしくなってしまう。

2014年11月30日

NO. 420

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel 23-1519 部内資料

こんにちは 大東のぶゆき です

こんにちは。一昨年の政権発足から2年足らずで衆議院を解散、総選挙をむかえることになった安倍政権ですが、国民の声に背き、暴走を繰り返し、国民世論に追い詰められての解散となりました。

消費税増税、「アベノミクス」の推進、「海外で戦争する国」づくり、原発再稼働、沖縄での米軍新基地建設など、あらゆる分野での安倍政権の暴走と加速に国民が審判を下す絶好の機会です。



日本共産党はこの2年間、安倍政権の暴走と対決し、対案を示し、広範な人たちと共に、ブラック企業規制法案や秘密保護法廃止法案を国会に提出し、沖縄知事選挙では保守の人たちとも協力し、翁長さん当選に尽力するなど、地方でも党派を超えて共同を広げ、安倍政権の暴走から国民のくらしと平和を守るために全力でがんばっています。日本共産党が伸びれば政治は、確かに変わります。

続ぶらい散歩 めまた道 利南地区あれこれ 特別編その十二

産護石

産護石は、新町の県道沿いの林の中にあります。

安倍貞任が八幡太郎源義家に攻められ、夫と片品川と利根川の合流地点で待ち合わせることを約束し、奥方と侍女で大石のあるこの場所まで落ちのびてきました。

奥方が、この大石のところで急に産気づき、出産しましたが、この時の出産が軽かったことから、後の人たちがこの石を産護石とよび、石祠を建て祀るようになりました。

上水道配水池

沼田の台地では、城堀川の水を長年生活用水として使ってきましたが、慢性的な水不足や伝染病の発症などから明治20年（1887）に上水道の調査がおこなわれ、その後も計画がも

ちあがりましたが、実現したのは大正14年（1925）で、県内では高崎市に次いで2番目、全国でも50番目に水道が布設されました。

その当時の配水池が、下久屋町に今もあります。

